

宇部市本庁舎建設検討市民委員会（第3回）の会議の概要

1. 開催の日時及び場所

平成26年8月21日（木曜日）18時30分～20時30分
宇部市役所 4階 第2・3・4委員会室

2. 委 員 出席委員 30名、欠席委員 21名

3. その他会議に出席した者

日高総務管理部長、藤崎総務管理部次長、山下総務管理課長、
濱原総務管理課長補佐

4. 傍聴者 1名

5. 会議の概要

(1) 総務管理部長あいさつ

8月9日（土曜日）に予定していた第3回委員会が、台風11号の影響により延期したことに対する説明及び開会のあいさつを行う。

(2) 議事の概要 以下のとおり

委員長： 只今より、第3回の委員会を開催いたします。

始めに、前回の委員会で皆さんに書いていただきました「感想カード」について、事務局から報告していただきたいと思っております。

事務局：（各委員から提出された意見について、別紙資料等に基づき報告を行う。）

委員長： この件に関して、ご意見やご質問はありますか。

委 員： これまで2回の委員会がありました。これまでの話し合いの結果が最終的にどのような結論になったのか、決まっていなと思います。今回いただいた資料を見ても、これまでの意見を羅列しただけで、今回もまた別の議題に移っています。私達の意見はどのようになっていくのでしょうか。説明をお願いします。

委員長： 本日の会議資料については、これまで委員の皆さんに出していただいた意見を出来る限りそのまま取り込んで作成したものですので、言われるとおり、それらを取りまとめるための議論はまだ行っていません。

これまで議論した内容については、建設場所にしてもそうですが、1回毎に結論を出せるような内容ではありませんので、本日第3回の委員会までしっかり意見を出し合ってください、私の方でそれをまとめたものを第4回の委員会で皆さんにお諮りしたいと考えています。

その後、市への提言案についても、文言等を含めて最終的に結論を出していきたいと考えています。ご理解いただきたいと思っております。

委 員： 分かりました。

委員長： 他にご意見等がありますか。

委員： 商店街連合会から、現在地での建替えに係る要望書がでていたのですが、昔、市の中心市街地に大手百貨店が進出する話がありましたが、地元の反対により実現しなかったことがありました。最近では、市役所近くの公園の一部を駐車場にして欲しいという要望に対し、近隣住民の反対で実現しなかったこともありました。

市街地住民からの要望や意見は、この市民委員会の意見よりも、大きな影響力があるということでしょうか。

事務局： 本庁舎の建設に関しては、団体からの意見や要望もありますが、市の方針決定に際しては、それらの意見も踏まえながら、総合的に判断していくこととなります。

委員長： この件については、よろしいですか。

委員長： 他にご意見等がなければ、本日の議題「第2回委員会のまとめ」について振り返ってみたいと思います。事前に郵送しています資料に基づき、説明させていただきます。

始めに、建設場所に対する意見についてですが、前回4つの場所について議論をしましたが、とりまとめた結果、「現在地で建替える案」と「今後統廃合が計画されている小学校の跡地を使って建てる案」が評価されています。

ただ、中心市街地活性化計画などでは、活性化のための拠点の一つとして市庁舎が位置付けられており、将来的に宇部市の中心市街地をどのように再生していくのかという視点で多面的に判断される必要があります。

また、学校統廃合の計画については、現在検討が始まった段階で、将来的な教育ビジョンの中で方向性が定まってくものと思われ、未確定な要素が多く残されています。

このような中で、市民委員会として、「庁舎の建設場所」をどのように市に提言していくのか。意見を一つにまとめていくことは、難しいと思っています。このため、現段階では、これまで出てきた皆さんの意見を取り込んだ形で市に提言していくことも考えています。

次に、「庁舎建設に対する基本理念」についてですが、第1回委員会の意見をまとめた同じ分類法により、第2回委員会で出された意見を赤字で追加記入してみました。それにより、私の方で、仮に「市民に親しまれる明るい庁舎」、「市民交流を生み、活動を支える庁舎」、「安心・安全の拠り所（防災拠点）」の3つにまとめてみました。

これに関しては、今後の議論も踏まえながら、最終的に取りまとめていければと思っています。簡単ですが、これまでのまとめとなります。

委員長： 続きまして、今日の本題に移って行きたいと思います。

資料でお配りしていますが、市庁舎には、基本的に「効率的な行政を推進するための機能」、「議会関連機能」、それに「市民が利用する機能」が組み合わせられて成り立つものと考えられます。

市役所にどのような「市民が利用する機能」が組み合わせられれば、宇部市

民にとって親しみやすく、使いやすく、美しく、誇りの持てる市庁舎になるのか、今回もグループ討議により、意見を出し合っていきたいと考えています。

参考になるか分かりませんが、グループ討議の前に、近年計画・建設された他市の市庁舎の事例を調べてきましたので、いくつか紹介させていただきたいと思います。

委員長：（パワーポイントにより、近年計画・建設されている他自治体の庁舎事例(12)についての紹介を行う。）

委員長： 今紹介しました市庁舎は、それぞれ状況や事情が異なる自治体で計画され、建設された庁舎です。

宇部市にそのまま適用できるものではありませんが、参考にさせていただきながら、宇部市に相応しい「市民が利用する機能」について意見を出し合っただけきたいと思います。

なお、グループ討議での意見は、集約していただき、後ほど発表していただきますので、よろしくお願いします。

< グループ討議（40分） >

委員長： それでは、時間となりましたので、各グループ毎に順番に発表していただきたいと思います。

< 各グループからの発表 >

委員長： ありがとうございます。

もう少し時間がありますので、各グループの発表に対して皆さんで議論していきたいと思います。何か意見等ありませんか。

委員長： 発表の中で、「庁舎と保育園の併設」とありましたが、どういうイメージになりますか。

委員： 同じ建物の中に保育園があると、市の職員の方も利用できると思いますし、福祉施設等も入れればいいと思っています。

委員長： 「介護保険課を前面に」というような意見がありましたが、この件に関してはどうでしょうか。

副委員長： 現在の庁舎では、障害福祉課の窓口は正面玄関の近くありますが、高齢者等が相談に行く介護保険課の窓口は通路を通った奥に位置しています。介護保険課を利用する市民にとっては、入口から近い位置に窓口があり、車イスが通れるスペースの確保や、スロープ、点字ブロック等が求められています。その辺りも配慮していただきたいということです。

委員長： 現在の本庁舎は、皆さんもご承知のとおり、残念ながらユニバーサルデザインとは対極の状況にあります。市役所を利用する様々な市民の方が、自分の意思通りに動けるといことは、公共の施設として重要な要素の一つです。

他にご意見等ありますか。

委員： 皆さんの発表を聞いていて、お金がかかるものが多いと思いました。100年間使っていく庁舎を建てるのに、今、発表された施設や機能は本当に100年必要なものなのでしょうか。

庁舎の建設は、できるだけお金を使わず、余計なものは作るべきではないと思っています。

委員長： 市民にとって必要なものをきちっと選択し、要望していくということが、市民委員会の役割だと考えています。

他にご意見等はありませんか。

委員： 市庁舎が中心市街地の核施設に位置付けられているとのことですが、計画のシミュレーションのようなデータに関して、私達はほとんど知りません。

もっと様々なデータを示していただいて議論しないと、現状だけで判断していくよりも、何十年も先の将来のことを念頭に、議論していくことも必要というように思っています。

委員長： データも大切ですが、個人的には、「まちづくりは皆さんの意思で決まっていく」と思っています。このようにしたいという人が何人いるかということで、まちづくりは決まる。市民にとって何が無駄なのか、本当にいるものなのか、皆で選んでいく。そのための市民委員会だと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

委員長： 本日も様々な角度から、いろんな意見が出ていますので、こちらで整理させていただき、次回、たたき台になるような案をお渡ししたいと思います。

最後に、次回（第4回）の内容についてですが、これまでの委員会で出た意見をまとめていきたいと思っています。

そして、第5回目を「庁舎建設にあたっての今後の進め方について」、第6回目を「提言書について」議論していきたいと考えています。

そのため、当初5回の委員会の予定を別紙「協議内容及び開催日程（案）」のとおりもう1回会議を増やしたいと考えていますが、皆さんいかがでしょうか。

< 意見及び異議なし >

委員長： 異議がないようですので、「協議内容及び開催日程（案）」のとおり開催日を1日追加して意見をまとめていきたいと思っていますので、ご協力のほどお願い致します。

以上で、第3回の宇部市本庁舎建設検討市民委員会は終了とさせていただきます。